目 次

戦後葉たばこ生産政策史 中 政策形成に携わった人々

第一節	経済成長萌芽期の生産展開(一九五三~一九五八) 商品生産と耕作基盤の近代化1	
1.	、経済の高度成長萌芽と社内意識	
2 .	、原料与件の構造的背景と製造計画6	
3 .		
4 .	良質葉のインパクトと需要の弾力性 、葉たばこ生産五ヵ年計画の原始骨格14	
5 .	、原料政策の選択と商品生産の宿題21 発展基盤は産地形成の軌跡を超えて	
	熟成在庫の必然観に挑む標的こそ 労働節約的経営と作業の快適性と	
	民間経営手法の吸収に果敢な意欲も	
	知識集約の構図が国産葉に競争力を 科学技術を横断結合する主役たち	
6 .	上林時代の閉幕と西山新部長の登場	
7.	惜しまれた秋山初代総裁の退陣 、葉巻愛好家の入間野新総裁が就任34	
	新総裁の周辺像と時潮を映す職域観 共生の哲理と『生活の探求』	
第二節	価格論のルネッサンス的展開40	
1 .	(1) 二十八年産価格諮問の政策スタンス	
2 .	(2)所得パリティ方式と決定価格の素描 、価格形成が描く横顔と審議会の反省46	
	(1) ルネッサンス的な価格論の燃焼 (2) 耕作代表単独の諮問機関に限界	
	(3)生産費方式への軟着陸が主目標 (4)国際競争力のポジションと輸出	
	(5)数値が語る横断比較図の点景	
3.	(6) 基準指標の歴史的なシンボル 、所得パリティへの科学的アプローチ54	
4 .	戦後基準パリティによる価格算定	
5 .	検討審議の手順と政策形成の合意 、購入費の予算補正を巡る攻防図62	
	数値を導く創意駆使の対決構造 主計局サイドの総括的な見解	
6.	予算折衝を巡る攻防双方の布陣	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	直情を叶露した陳情書の説得力	
第三節	、基幹物資との対比が映す役割意識75 耕作遂行の軌跡と災害対策80	
1 .	、自主性回復に伴う初挑戦の生産試練80 災害後の豊作続きと生産調整の予兆	
2 .	、虎ノ門新本社が導く執務革新の始動84 落成式の偶発的な展開と職域の開眼	
3.	<u> </u>	
J .	兼作界の要請と生産部内の模索案 減収加算の必要性と農政上の問題点	
	当年の減収加算か翌年の生産確保か	
4 .	入間野総裁の隠れた柔軟性と高所観 、文化人総裁が淡々と示す静かな情熱99	
	端正かつ大器晩成型のリアル志向 具体的方策を模索するアプローチ	
5 .		ŀ
6.	主体的な企業性を守る独創観の結実)
	西日本耕作ブロック会の感謝決議	
7 .	、葉たばこ加算額を巡る性格論と余滴118)

目次中.txt

•		第三の選択	腹に 幺	」の首令系	案」も		400
8	、松出	日副総裁の 又納価格据)登場とラ ≧罟⇒∠ച	プレ政党	東台頭 豊の分離		123
9	、内タ	小価格差と	:二十九年	₣度の災害	害対処		128
	_ 4	E産刺激効	果を狙っ	た独創的	的交付金		404
10	、コノ	くト競争刀 彡山所感か]の提唱と 「物語ス単	ニ戦後の⁻ セ後十年の	一里塚		134
第四節	政府	7年別念の	一つ政策は	はは、中でに向の模型	か1日 信用 索		140
1	、鳰⊔	∐内阁によ	(る脇時1)	□格刃朿(ひ試み		140
)たばこ				E - 11.	
	(2) 諮問機) 審議経	剣として 渦の概要	の性俗と	. 安貝の性)ポイント	∄ 万 火 ・	
	(4)価格政策	策の筋論	を貫徹し	た報告書	t i	
2	、収約	内価格を巡	る協議会	の指導	理念		149
)協議会の				Ļ	
	(3) 協議会;	が残した	葉たばこ	への効果	<u>Į</u>	
	(4) 自己反	省の度量	と信頼感	の増幅		
3	、威利	目の姿勢と)多角的を	: 関連貨料	乳の検討!	凯逊 阳卢焦土	 1	158
	(2)疑念を	は関連す 解消した	収納価格	の算式説	.朗	
	(3) 価格質	定ににじ	お無言の	説得感		
4	、新指	自数調査か	である。	ジャックラング アンドラング アングラング アングラング アンディング アンディング アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	-里塚		162
	(1) 黙々と) ニュー	続いた目・ディー	土新ハリルと占領	ナイの調	自 音	
5	、公社	ノ <u>ー</u> ユ ±が説明し	た生産費	調査の情	引起の間	· · · · · · · · · · · · · · · · · · · 	176
6	、生產	崔費質疑に	映る委員	の関心	象		
7	信点	周査標本の)規模と説	記得力の第	象徴 の窓品		100
7	当	芝穷との針	1 強会を関	目く 「雜(カー吉・		
8	、四半	単世紀目の	値下げと	:歴史的/	な秘録		191
_		\社発足後	の異例な	i価格関i	車省議		
9	、値は	トけの史的 !像し得る]怠義と紀	永永局長(の配慮		197
	N.	は多りはの	元里こし) C U) /末 !!	思逐味		
第四章	原料訂	周達エリア	の指導体	上制			
第一節	人村	才発掘とマ	゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚	くント像.			204
ı		ソノ偕糸龍「農家経済	の人間は	を 説く 言い	浬愽凶 笠井論文		204
	耒	#作指導層	の情熱と	:地域社会	会の意欲		
2	、攻号	〒双方の布	⋾陣とパ−	-トナー?	シップ		207
3	、ヒシ	ノネス新戦	初の涵積	をと人材 を	発掘 ↓ *** 表 #*		210
		* II /* #II T	・ひょれか	が休用しょ	へ 们 糸 畑		
	五	战時体制下 蚤地に対す	てお道技	爲助の知り	生的源流		
4	產 、終単	産地に対す 伐を挟む前	る指導扱 〕後十年分	≷の技術剤	系新星		216
4	を	置地に対す 伐を挟む前 パブロック	る指導扱 後十年分 ア・コーオ	その技術を	系新星ョンの魅	 ታ	216
4	を 終 単 打 打	置地に対す 伐を挟む前 パブリック 支術革新に	「る指導扱 〕後十年分 」・コーカ :備え幹部	≷の技術₹ ポレーシ∶ 『要員のŒ	系新星ョンの魅り アスタンを アスタンでは、アンスをできる。 アンスティンでは、アンスをできる。 アンスティンでは、アンスをできる。 アンスティンでは、アンスをできる。 アンスをできる。	カ	216
	を 終 単 力 打 打	置地に対す 伐をリンが 犬が 大術人材の は導人材の	「る指導扱 が後 は は は は は は は は は は は は は	₹の技術₹ ポレーショ 『要員ので 日と真摯が	系新星ョンの魅力 アスの魅力 アスタンでは アスタンでは アスティアをある。 アスティアをある。 アスティアをよる。 アスティアをなる。 アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをよる アスティアをなる アスをなる アスをなる アスをなる アスをなる アスをなる アスをなる アスをなる アスをなる アスをなる アスをなる アる アる アスをなる アる アる アる アる アる アる アる アる アる アる アる アる アる	力	
	終れ 技術を作る とうがく おおお こうしょう おおい こうしょう おおい こうしん おおい こうしん いっぱい いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いん	置地ででいる。 地をブ術導の主人 対しい新材軸面 をある。	「る後・備望を見る。 「後・備望を見る。」 「はないないない。」 「はないないないないない。」 「はないないないないないないない。」 「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	その技・の技・の技・のなりでは、 のし、要と、では、 ののでは、 ののでは、 のでは	系ョな ヨ エ ス 保 熱 理 な 性 禁 理 を 情 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	ກ	
	終 拍拼產价法	置地に対いて でではいいでは ででは ででででいる。 でいる。 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	「後、備信スのの指十コえ望トオ需導年一幹基とッ給」	R の	系ョ確な管能開展 新ン保熱理を 動を情像核が のを情像が のでに のでに のでに のでに のでに のでに のでに ので に ので に	力	
5	終れ 生 に	置地ででいる。 世をブが大きる でがいる でがいる でがいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる で	「後のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	** 『『『『『『『『『『『『『『』』。 『『『『『』』。 『『』。 『『』。 『『	系ョ確な管能開が新ン保熱理を眼共星のを情像核か生	カ 	224
5	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置地ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	「3後、「第一の代表」で、1987年、1987	ペアスペアスのレ要とでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの<l>でのでのでのでのでのでの<l< td=""><td>系ョ確な管能開がのな新ン保熱理を眼共布資星のを情像核か生石産に</td><td>カ </td><td>224</td></l<></l>	系ョ確な管能開がのな新ン保熱理を眼共布資星のを情像核か生石産に	カ 	224
5	。 終 生 生 技 経 生 生 技	置战パ支旨至西去圣童支持地をブ術導の格的営革省革省主と独の新ム新対動面占論のーをす前クにのボ積下理構ド導	- うぱ・焼きのののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ペ『日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	系ョ確な管能開がのな苗新ン保熱理を眼共布資…を情像核か生石産に	カ 	224 228 230
5	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	産成『支旨産面去圣産支行長 地をブ術導の格的営革省革志に挟リ革人主と独の新ム新向対むッ新材軸面占論のⅠををす前グにのボ積下理構ド導映	こうで、前によりである。 では、一角には、一角には、一角には、一角には、一角には、一角には、一角には、一角に	そのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	系ョ確な警能開がのな苗告新ン保熱理を眼共布資に	カ 	224 228 230
5 6 第二節	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置成『支旨音画法圣音之行長奇世をブ術導の格的営革省革志種に挟リ革人主と独の新ム新向が対むッ新材軸面占論の一をを映す前グにのが積下理構ド導映す	- 3後、前に見いている。 10、前によりである。 11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、	そのでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	系ョ確な管能開がのな苗造プ新ン保熱理を眼共布資の星のを情像核か生石産姿姿勢勢	カ 	224 228 230
5 6 第二節 1	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置伐『支旨置面去圣量支持長奇尹杲地をプ祈導の格的営革省革志種作素に挟リ革人主と独の新ム新向が技化対むッ新材軸面占論の一をを映術成す前クにのポ積下理構ド導映すのの	- 3後、「のまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	その「「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」と、「ない」の「は、これ」と、「ない」で、「ない」と、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」、「ない」	系ョ確な笉能開がのな苗造プと石新ン保熱理を眼共布資・・・の同三星のを情像核か生石産・・・姿義鳥・・魅	カ 	224
5 6 第二節	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置成『支旨音画去圣童文片長育君家養世をブ祈導の格的営革省革志種作素テに挟リ革人主と独の新ム新向が技化ク対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノす前クにのポ積下理構ド導映すのの口	- 3後、1000でである。 - 3後、1000では、	その「日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	系ョ確な弯能開がのな苗造プと石を新ン保熱理を眼共布資・・・の同三画星のを情像核か生石産・・・姿義鳥す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カ 	224
5 6 第二節 1	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	置成『支旨室画去圣堂文片長育君民美才地をプ術導の格的営革省革志種作素テキに挟リ革人主と独の新ム新向が技化クシ対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノダす前クにのポ積下理構ド導映すののロン	- 3後、信息を受けています。 1980年ののと関いては、一般では、日本のののでは、日本ののでは、日本のでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のでは 日本のでは、日本のでは	そ『『日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	系ョ確な笉能開がのな苗造プと石を刃新ン保熱理を眼共布資・・・の同三画対星のを情像核か生石産・・・・姿義鳥す決・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カ 	224228230237
5 6 第二節 1 2 3	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置伐『支旨至西去圣童文符長育君尽美才悲喜地をブ術導の格的営革省革志種作素テキ学のに挟リ革人主と独の新ム新向が技化クシ的根対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノダ試」す前クにのボ積下理構ド導映すののロン駿研	「3後、備信スののと関のくす戦権がリントを守指十つえ望トオ需技と周研生略立用一公日陣導年一幹基とッ給術長辺究産とはがに害米が、指分がも盤象ったの其優の事業経過第二のは、1920年の第一の第一の第一の	そ『『日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	系ョ確な≦能開がのな苗造プと石を切力献新ン保熱理を眼共布資・・・の同三画対図図星のを情像核か生石産・・・・姿義鳥す決・・絵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カ 	224228230237242
5 6 第二節 1	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置伐『支旨至西去圣童文符長育君尽美才悲喜地をブ術導の格的営革省革志種作素テキ学のに挟リ革人主と独の新ム新向が技化クシ的根対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノダ試」す前クにのボ積下理構ド導映すののロン駿研	「3後、備信スののと関のくす戦権がリントを守指十つえ望トオ需技と周研生略立用一公日陣導年一幹基とッ給術長辺究産とはがに害米が、指分がも盤象ったの其優の事業経過第二のは、1920年の第一の第一の第一の	そ『『日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	系ョ確な≦能開がのな苗造プと石を切力献新ン保熱理を眼共布資・・・の同三画対図図星のを情像核か生石産・・・・姿義鳥す決・・絵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カ 	224228230237242
5 6 第二節 1 2 3 4 5	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置伐『支旨室町去圣室支持長資津尿養す長草音「地をブ術導の格的営革省革志種作素テキ学のをブに挟リ革人主と独の新ム新向が技化クシ的根分ル対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノダ試」けーす前クにのボ積下理構ド導映すののロン駿研たモ	「3後、備信入ののと関のくます戦命対シトを守病で、指十コえ望トオ需技と周研生略立用一公日陣害ル導年一幹基とッ給桥長辺究産とはがに害米が虫ド拐弁が竒盤8~240萬億年を持ちがおき盤8~240萬億年を	そ『『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本	系ョ確な≦能開がのな描造プと石を刃力献訓水新ン保熱理を眼共布資の同三画対図図…際星のを情像核か生石産姿義鳥す決…絵:戦…魅	カ 	224236237237242251
5 6 第二 1 2 3 4 5 第三節	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 及 、 生 生 技成 農 生 明 政	置伐『支旨至町去圣童支持長資津尽養す態声音「長世をブ術導の格的営革省革志種作素テキ学のをブ形に挟リ革人主と独の新ム新向が技化クシ的根分ル成対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノダ試」け一とす前クにのボ積下理構ド導映すののロン駿研たモ経	「3後、備信入ののと関のくす戦命対シトを子に三宮指十コえ望トオ需技と周研生略立用一公日陣害ル自導年一幹基とッ給桥長辺究産とはがに害米が虫ド立投分が竒盤象ったの其像東す終品奏コのはつか」	そ『『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本の『日本	系ョ確な≦能開がのな苗造プと石を刃力献訓水新ン保熱理を眼共布資の同三画対図図…際星のを情像核か生石産姿義鳥す決…絵:戦…魅	カ 	224236237237242251
5 6 第二節 1 2 3 4 5	、 、 、 、 、 、 、 、 、、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置战『支旨董皿去圣童文行長資早尽養才長直音「長堂世をブ術導の格的営革省革志種作素テキ学のをブ形新に挟リ革人主と独の新ム新向が技化クシ的根分ル成戦対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノダ試」け一と略す前クにのボ積下理構ド導映すののロン駿研たモ経の	「3後、備言スののと関のくす戦略効ジトを完成し営冷指十コえ望トオ需技と周研生略立用一公日陣害ル自論導年一幹基とッ給術長辺究産とはがに害米が虫ド立な持分がお留象、55万萬億年	その「日本のでは、	系ョ確な≦能開がひな描造プと石を切力試訓水新ン保熱理を眼共布資・・・の同三画対図図・際・・星のを情像核か生石産・・・・姿義鳥す決・・絵・戦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カ 	224236237237242251
5 6 第二 1 2 3 4 5 第三節	、 、 、 、 、 、 、 、 、、、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	置伐『支旨至町去圣室支持長資론尿養才長倉音「佞宮公地をプ術導の格的営革省革志種作素テキ学のをプ形新社に挟リ革人主と独の新ム新向が技化クシ的根分ル成戦発対むッ新材軸面占論の一をを映術成ノダ試」け一と略足す前クにのボ積下理構ド導映すののロン駿研たモ経の時	「3後、備言と関係できょうの対グトを死法、当今を指十つえ望トオ需技と周研生略立用一公日陣害ル自静担導年一幹基とッ給術長辺究産とはがに害米が虫ド立なっ様分が竒盤象づかの其像東草経品参りのはつか「仏教だ	その「ない」と、「ない」、「ない」、「ない」に、ない、「ない」に、ない、「ない」に、ない、「ない」に、ない、「ない」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ないい、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、「ない、」に、ない、これ、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい、いい	系ョ確な≦能開がかな描造プと石を切り駄訓水・・脳新ン保熱理を眼共布資・・・の同三画対図図・際・・・・と情像核か生石産・・・・・姿義鳥す決・・絵・戦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カ 	224230237247251256

	目次中.txt	
3、	多彩な経営層と司令塔の存在感	263
4、	幹部像を象徴する典型素材	267
5、	戦後四半世紀の後半を飾る離陸 文科と理科が併走するメイン街道	270
6、		275
7、	大正期の象徴的思潮と嗜好急転	277
8、	大正デモクラシーへの郷愁と市場観 「桃李門に満つ」の景を実感	281
0	高等文官試験に代わり公務員試験	206
9、	グローバル化の風圧と市場原理	∠80
40	プライドとキャッチアップの戦略観	20.4
10、	広報戦略に登場した最初の「Q&A」 新知見も徳望も至宝の共有財産	294
第四節	専売カルチャーの基盤と資性	297
1,	「彼が来ないと閉会できぬ」	
2、	大海を志した在学生の固い絆	301
3 、	凛然と指導性を果たす主体像 短現出身を巡る職域内の布陣	303
	トライアングルの信頼と協力	
4、	陸の多数派 幹候グループ ギネス・ブック級の逸材基盤	309
•	機略に冴えた慧眼の采配	
	挑戦への一徹と百万ドル級の笑顔 国際派の逸材 戦略性を秘め気迫凛然	
5、	清冽な極致を思わせる映像	317
6、		320
7.	素心の交わりと徳望高き薫陶	322
	滋味掬すべき端正な純学究肌 肺腑にしみる全人格的な感化	